

大宮退職校長会 会員だより

第62号 発行責任者 藍川達雄

活動を見直し、全面復活を目指して



大宮退職校長会

会長 藍川達雄

コロナ禍が収まる中で本年度も、市民会館おみやで総会を実施することができました。

りました。

令和6年度は、新会員1名を迎え会員総数209名(5月25日現在)でスタートとなりました。なお、本年度は改選期でなかったのですが、一部役員の変更がありました。再任いただきました私を含め、昨年引き続きスタッフ一同力を合わせて本会を運営してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

次に、見直しの第一として会費の納入方法について、従来は旧市内の方は理事さんによる手集め、それ以外の方は振り込み方式で行ってきましたが、本年度より全て振り込み方式に変更させていただきました。当初、戸惑いはあったかと思われませんが、理事さんの負担軽減及び会運営の効率化を図る改革ということでご理解いただければ幸いです。

第二として美術展の開催時期の見直しです。従来1月に開催していたのですが、寒いということもあり来場者のことも考慮し、本年度は10月に実施することにしました。外出するには良い季節です。出

展してなくとも仲間との出会いの場として利用していたければ幸いです。

なお、本会は会員の皆様の心のよりどころとなるよう、懇親旅行・史跡巡り・広報誌の発行・教育情報の収集・美術展の開催・各同好会活動への支援等を行っています。

私事ですが、現在一人暮らしです。朝起きて外出しない限り一日誰とも会話することはありません。幸い校長会のお仕事で多くの人と関わり合いを持っていきます。さらに本会のゴルフ・写真クラブに所属していることから多くの仲間と話すことができている。これらがなければ、ただ家において会話のない日々を過ごすことになりそうです。人は人との関わりの中で生きてこそ生きがいを得られるものと実感しています。さあ、朝起きたら着替え、自分の趣味やお仕事・ボランティアに取りかかり、仲間と対話を心がけましょう。

本会としては、会員の皆様のための事業を進めてまいります。なお会へのご要望等あればいつでもご連絡ください。

能登半島地震の被災地に義援金!

大宮退職校長会の総意で10万円。日本赤十字社埼玉県支部(支部長・大野元裕埼玉県知事)を通して被災地へ。

令和6年1月1日16時10分、石川県能登半島地下16km、マグニチュード7.6という内陸部で発生する地震としては、日本でも稀な大きな地震が発生しました。「令和6年能登半島地震」とよばれています。被害は、全壊家屋8、108棟、半壊家屋16、504棟、死者241名、負傷者1、299名にのぼります。8か月たつ今も復興途上にあり、困難な生活を強いられている人もいます。

さいたま市退職校長会大宮班では、藍川達雄会長の発案のもと、「幹事会」「理事会」の賛同を得て義援金を現地に送ることにしました。

4月3日(水)新旧理事会終了後、藍川会長・金子・渡辺副会長の3名で日赤埼玉県支部を訪問しました。

日赤では、森尾博之・事務局長、永瀬公彦・事務局長、赤埼玉県支部を後にしました。(文責・金子泰久)



令和6年度
さいたま市
大宮退職校長会
総会報告

日時 5月11日(土)
午後2時～
会場 市民会館おみや
レイボックホール
集会室8
来賓 さいたま市教育委員
会学校教育部長
野津吉宏様
大宮退職校長会顧問
江原政雄様
加々美健一様

渡邊正道副会長の司会により、金子泰久副会長の開会宣言の後、国歌斉唱、そして昨年度ご逝去された7名の会員を悼み黙とうを捧げ、総会が始まりました。

藍川達雄会長挨拶

コロナ禍も落ち着き、本会の活動も通常に戻れると予想しております。本年度は新会員1名を加え、会員209名で出発いたします。昨年度は

活動にコロナからの復活を掲げ、活動はすべて順調に計画実施されました。3月の理事会でご賛同いただいた能登半島地震の義援金につきましても、先日日赤埼玉支部にてお渡ししてまいりました。また、私が会長に就任以来4年目で初めて、総会の後懇親会が開かれます。これも復活した事業の一つとらえ前向きに進みたいと考えます。

定年制の延長に伴い、入会時期の課題等詰めていかなければならない問題も数多くあります。本日ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。



堀口成之新入会員挨拶

この3月まで宮原中学校長



としてお世話になり、現在定年延長に伴い、教育研究所で勤務しております。

野津吉宏学校教育部長挨拶

私も大宮出身で、いくつもの大宮の学校でお世話になっておりますので、これまでご指導いただいた諸先生方のお仲間に入れていただき光栄です。改めて感謝申し上げます。今後は、ご支援をいただきながら退職校長会の方も頑張っていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

本日、令和6年度さいたま市大宮退職校長会定期総会が開催されますことに心から喜び申し上げます。
令和5年度もさいたま市の

子ども達は健やかに成長し、大きな飛躍をみせております。市立浦和高校がディベート世界大会で日本初となる決勝進出を果たしたことをはじめとして、文化活動、運動、また全国学力・学習状況調査や英語教育実施状況調査など学習においても全国的に大きな成果を挙げております。

教育委員会いたしましたしては日本一の教育都市で、日本一幸せな子どもを育むことを使命として様々な施策(さいたま市スマートスクールプロジェクト、不登校等児童生徒支援センター(Growth)、コミュニティスクール等)を推進してまいります。



さいたま市大宮退職校長会の皆様には、引き続きさいたま市の学校教育を支える力と

してご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。(さいたま市教育長竹居秀子様祝辞代読)

その後、本会の江原政雄顧問、加々美健一顧問から、各事業の充実を図るなど益々の本会の発展を祈念しますとのご祝辞をいただきました。

その後、藍川達雄会長を議長として議事に入り、すべての議案は満場一致で承認されました。詳細は総会要項参照。



【特集】さいたま市教育委員会の取組

「さいたまSDGs教育」について

さいたま市教育委員会教育課程指導課

現代社会における地球規模の諸課題を自分事として主体的に捉え、その解決に向けて自分で考え行動する力を身に付けるとともに、新たな価値観や行動等の変容をもたらすための教育であるESD（持続可能な開発のための教育）の推進が求められています。

そこで、さいたま市教育委員会で、一人ひとりの幸せな人生と豊かな社会の持続的な発展を実現するために、各教科に加え、国際理解教育、環境教育などを通して、ESDに取り組み「さいたまSDGs教育」を推進しています。

これまで、全ての市立学校と生涯学習関連施設が、それぞれの取組をSDGsの17の目標に関連付けて作成した「PRシート」に基づき、SDGsの実現を目指した教育を進めてきました。令和5年度は、浦和レッズと連携し、市内5区（浦和、南、緑、桜中央区）の小・中学校計78校の「PRシート」を埼玉スタ

ジアム2002のSDGsブースに展示し、観戦に訪れた多くの方に見ていただき、SDGsの推進に寄与しました。

さらに、大学教授や企業・団体の皆様を迎えて「さいたまSDGsアワード」を開催し、学校や個人のSDGsに係る取組を表彰しました。受賞した児童生徒によるプレゼンテーションを通して、好事例を市立学校に広めることができました。

令和6年度は、「さいたま市SDGsアワード」の協力企業・団体数と参加校や児童生徒数を拡大するとともに、表彰部門を充実させ、SDGsの実現に向けた行動と、社会とのつながりをより意識した行動を促進します。また、SDGs17の目標との関連を明記した「さいたま市小・中一貫教育カリキュラム」に基づき、各学校が教科等の教育活動を展開できるように支援していきます。

シリーズ
私のとぎめ
ライフ ⑤

おやしバンドの復活

駒宮 寿夫

私は、学生時代に音楽系のサークルに入っていた。そのOB会が昨年（2023年）11月に、東京大塚にあるライブハウスで開催された。OB会は、2年に1度のペースで開催されていて、同僚や先輩・後輩等、学生時代の仲間が集まり、バンド演奏や弾き語り等を披露し合う。OB会は、西暦2000年から実施しているもので、20年以上も続いている。しかし、コロナの流行で、2020年秋に開催される予定のOB会が延期になり、ようやく昨年、5年ぶりに開催されたのである。私は、学生時代に組んでいたバンド仲間とこれまでも時々演奏することがあったのだが、2020年2月のライブを最後に我がバンドの音楽活動も停止した。よって今回のOB会での演奏は、私にとっては3年

ぶりということになる。バンド仲間と久しぶりに再会し、5月から1回のペースでスタジオを借りて練習し、本番を迎えた。演奏ももちろん大切ではあるが、それ以上に同僚や先輩・後輩と再会できたことが嬉しかった。

さて、今年7月からまた月1回の練習を再開した。県内のある町の自治会から要請を受けてこの冬に演奏することとなった。演奏曲に、なんと「北酒場」「津軽海峡冬景色」という演歌が加わった。もちろんザザンやディーブパープル等も演奏するが、なんでもござれのスーパードライブの誕生である。そして、次回OB会の開催は、来年秋の予定である。「おやしバンド」、否、「じいさんバンド」で、「時代遅れのロックンロールバンド」だが、今後も、皆と共に音楽を楽しみたい。

令和6年度は、「さいたま市SDGsアワード」の協力企業・団体数と参加校や児童生徒数を拡大するとともに、表彰部門を充実させ、SDGsの実現に向けた行動と、社会とのつながりをより意識した行動を促進します。また、SDGs17の目標との関連を明記した「さいたま市小・中一貫教育カリキュラム」に基づき、各学校が教科等の教育活動を展開できるように支援していきます。



専門部の活動

今年度の第1回各専門部会が6月中に開催され、次のようなことが話し合われた。

広報部

今年度は「会員だより」62号・63号を発行する。そこで掲載する「懇親旅行」「史跡めぐり」「美術展」等の行事を誰が担当するのか分担を決めた。次に一昨年度から掲載を始めた「私のとときめきライブ」と1月に起こった能登半島地震の被災地への義援金送付の記事を掲載することも確認し、原稿依頼の分担も決めた。さらに「さいたま市教育委員会の取組」については、『さいたまSDGs教育』についてまとめてもらったことにした。

〔部員〕入江知彦 ○松田泰成
小川 啓・宮川和夫・名倉稔夫・星美千也・福島博子
富田英雄 (○印は部長)

〔幹事〕中山正一・眞嶋廣久
新井栄司
※担当副会長・佐藤 薫

福利厚生部

今年度の懇親旅行は、「日本橋・銀座歴史ウォーク」というテーマで日本橋・銀座界隈を散策する。さらにマグロ繁殖で有名な近畿大学に関わりのある「近大水産研究所銀座店」での懇親会(10月11日)を計画している。「史跡めぐり」は大宮が世界に誇る「盆栽村」を訪ねる。盆栽村の歴史や森鷗外のご子息が住んでいた跡地などの歴史散歩(11月15日)を計画している。

〔部員〕河原塚順司・河田捷一
須田義博・柿岡文彦・渡部隆男・外園倫生・大澤 淳
〔幹事〕秋山 隆 ○金子有哲
関根俊幸 (○印は部長)

※担当副会長・金子泰久

ようこそ！ 新入会員の紹介

定年延長の関わりもあり、役職定年を迎えられた方々の中から今年度は大宮退職校長会に1名入会されました。

フレッシュな感覚とお力を、本会の発展のためにお貸しいただけますようお願いいたします。

堀口成之 (敬称略)

研修部

今年度は「子どもの主体性をはぐくむ学校・家庭・地域の連携のあり方」というテーマで10月に大宮南中学校を訪問する。そして田村浩司校長先生から、研修テーマに沿った当校における実施内容の成果と課題についての講話をいただき、その後研究協議を行う。

この研修については例年通り、12月の理事会において報告することを予定している。

〔部員〕○中村秀男・坂井俊夫
桑原 昇・関 修・菊地 豊・柴崎邦夫・石田耕一
〔幹事〕関根 廣・菊池悦夫
駒宮寿夫 (○印は部長)

※担当副会長・渡邊正道

令和6年度の役員

退任

理事 曾田洋一

顧問 黒田春海・竹本昭剛

江原政雄・加々美健一

会長 藍川達雄

副会長 金子泰久・佐藤薫

渡邊正道

監事 武井崔良・河原塚順司

中山 亮

訃報

慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

秋元芳雄氏(93歳)

令和6年4月17日逝去

幹事の事務分担

総務 溝口正己・矢内 洋
原田守康・橋本 栄
会計 須田 博・渡邊朋久
島村 暁
広報誌の発行 中山正一
眞嶋廣久・新井栄司
各種配付物 中山正一
懇親旅行・史跡めぐり 金子有哲・秋山 隆
関根俊幸

専門部会
〔広報部〕中山正一・眞嶋廣久
新井栄司・佐藤 薫副会長
〔福利厚生部〕秋山 隆・金子有哲・関根俊幸・金子泰久
副会長
〔研修部〕関根 廣・菊池悦夫
駒宮寿夫・渡邊正道副会長
美術展の開催 柴崎邦夫・溝口正己・橋本 栄・原田守康・矢内 洋・須田 博

新入会員募集

溝口正己・矢内 洋・原田守康・橋本 栄・関根 廣

編集後記



今年の関東甲信地方の梅雨入りは平年より14日遅い6月21日、梅雨明けは平年より1日早い7月18日と気象庁から発表されました。梅雨明けとともに猛暑日の連続。昼間だけではなく寝苦しい夜にも悩まされました。そして、いよいよパリオリンピックの開幕。3年前の無観客で行われた東京オリンピックが、今となつては残念の一言。それはさておき、連日の日本選手の登場に一喜一憂、感動で震える瞬間もたくさんありました。寝不足もさらに進んでしまった方もいたことでしょう。

さて、今年度も退職校長会では様々な取組がなされます。その様子はお預かりした原稿からもつぶさに感じ取ることができました。魅力的な活動にぜひ参加してみたいと思いましたが、「自分探しの旅」の一環として。

〔編集委員〕佐藤 薫(副会長)
中山正一・眞嶋廣久・新井栄司